

S2

恣意的な単語のほうが図示的な単語より安定している：  
台湾手話と日本手話が示す証拠

ジェーン・ツァイ<sup>1</sup>、相良 啓子<sup>2</sup>、菊澤 律子<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>国立中正大学 [台湾]、<sup>2</sup>国立民族学博物館 [日本])

要旨

手話言語の語彙は、その固定化の度合いに関して不均一であるようである。具体的に言うと、恣意性の強い手話単語は時を経ても安定しているのに対し、図示性の強い手話単語は共時的変異にも通時的変化にもさらされやすい。本発表では、このパターンを支持する証拠を、日本手話語族に属する二つの言語、日本手話と台湾手話から提示する。1910年代に台湾で初の聾学校二校が設立される際、聾教育者によって日本手話が台湾にもたらされた (Smith 2005)。これら二言語に存在する同源語を比較した結果、台湾手話に残る同源語のほとんどは、抽象的な概念であって音と形式との関係が恣意的なものであった。一方、具体的な概念であって音と形式との関係が図示的な単語は、日本手話と台湾手話の間で変異の幅が大きかった。

語彙の比較のため、日本手話と台湾手話の使用者であるろう者から、二セットの単語リストを用いてエリシテーションが行われた。第一のセットは、台湾手話で南北の方言差がある 50 の語彙項目からなる。この変異は、おおまかには日本手話の方言差 (東京・大阪など) に由来するものと考えられている。McKee and Kennedy (2000) に基づく四つの音韻論的特徴を用いて語彙項目をコーディングした。この 50 項目のうち、24 項目は日本手話と台湾手話でまったく同一か類似しており、同源語であると考えられる。これら 24 の同源語は、ほとんどが抽象的で図示性の低い概念や定まった形を持たない物質を指すもので、図示的な概念を指すものは 2 項目にとどまった。さらに、図示的な語彙項目の中には日本手話の中で変異の幅の大きいものもあった。たとえば、東京・大阪・京都・三重から集められた 13 人の手話使用者で、「豚」を指す手話単語は 4 種類あった。これらはいずれも台湾手話の手話単語とは異なっていた。

エリシテーションに用いた第二のセットは、語彙から同源語を数え上げるための Swadesh の 200 語リストである (Swadesh 1955)。本質的に指示的である単語 (代名詞や身体部位など) は、Woodward (1993) の提案に従い、対象から取り除いた。調査の結果、色名や疑問詞などの抽象的で恣意的な概念を指す手話単語が二つの手話言語の間で同一か類似した形式を保っていた。

形式と意味の対応関係が厳格である恣意的な手話単語に比べると、図示的な手話単語は形式と意味の対応関係に想像と改新の余地が大きい。このことは、図示性が原因で手話言語の語彙は画一的になりやすいというこれまで一般的だった想定 (Meier 2002) に反するものである。これによって日本手話と台湾手話の間の差異のパターンが説明できるかもしれない。

ツァイ、相良、菊澤—恣意的な単語のほうが図示的な単語より安定している：  
台湾手話と日本手話を示す証拠

Keywords: vocabulary, lexical comparison, Taiwan Sign Language, Japanese Sign Language, arbitrariness, iconicity

#### **REFERENCE**

McKee, David and Graeme Kennedy. 2000. Lexical comparison of signs from American, Australian, British, and New Zealand Sign Languages.

Smith, Wayne H. 2005. Taiwan Sign Language Research: An Historical Overview. *Language and Linguistics* 6.2, 187-215.

Swadesh, Morris. 1955. Towards greater accuracy in lexicostatistic dating. *International Journal of American Linguistics*, 21.2: 121-137.

Woodward, James. 1993. The relationship of sign language varieties in India, Pakistan, and Nepal. *Sign Language Studies* 78, 15-22.